



＊ ＊ 会長新年のご挨拶 ＊ ＊ 保全活動継続の意義と方針について

(岡田)会長

- ★新年明けましておめでとう御座います。会員の皆様には元気で新しい年をお迎えの事と思います。コロナ感染症の騒ぎも落ち着き、エコフェスへも参加し、当日は沢山の市民を迎えることが出来ました。
- ★昨年の夏も前年を上回る暑さになり、植樹地保全や園内整備作業日に熱中症警戒アラート発令時は作業を中止することにしました。その他稼働時間の短縮等の工夫で無事故で終わることが出来ました。
- ★我が保全くらぶの会員数も残念ながら年々減少し、更には高齢化も進む中、園内の保全や整備作業の縮小も考慮せざるを得ない状況となっております。

- 特に、大物の枯損木の伐倒や急斜面での作業などは出来るだけ避けるなど安全第一を心掛け作業を進めたいと考えております。
- ★高齢化が進むなかで健康を維持するには、適度な運動や仲間との会話が大事だと思っております。これからも保全作業を通して無理せず、ゆっくりと楽しく身体を動かして行きたいものです。
- ★本年も会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新しい年に向けてのご挨拶と致します。今年も安全で怪我の無い保全作業を心掛け、頑張っていきたいと思っております。

植樹地保全・園内整備作業

保全項目	実施日	作業内容	作業の様子
園内整備作業	10月29日	・ネイチャーセンターの裏側に枯れた松が倒れていた。遊歩道を塞いではいないが、くらぶでこの倒木は整理した。 ・倒木は太いものも多く、処理するのに手間が掛かると同時に重いので片付けられる大きさに切断したもので結構時間が掛かる。	
	11月5日	・森の教室前広場の前方南側に落葉等の集積場として4m四方位の“柵”を作った。これから冬場にかけて落葉等をかき集めたら集積する予定としている。 ・今までも「集積場」は作ったが、今回は数年はこのまま使えるようにしたもの。	
	11月14日	・天候が不安定だったせいもあり、作業参加者は5名に止まり、当初予定の作業が出来なかったので「石の池周り」北側に植樹を行うための「竹杭」立て実施した。 ・特に、ミズナラの苗木10本程度を移植するため、池に近い所に植える計画とし、竹杭を立てた。	
	11月23日	・ここ2、3年実施中の「助中植樹地」への苗木移植作業実施。前年に移植した場所から管理道路側に4本苗木を植えた。 ・苗木はクヌギやコナラで助川山の森林を構成する主要な樹木であり今後もこの場所の空地に随時増やして行く計画としている。	

助川山自然観察

- ★10月31日(木)保全くらぶで自然観察会を実施。参加は、平井さん、山内さん、根本さん、福士さんに木幡さんの5名。
- ★駐車場付近のタマゴダケに始まり森の教室迄の「やまぐりの丘」でキノコ類を観察し、図鑑と付き合わせて同定を試みた。
- ★図鑑と突き合わせながらの観察、同定作業だったが苦戦したものもあったが何とか突き止めることが出来た。今後は参加者を集め樹木や野草の知識も広げて新しい感覚のもと自然と接したいものだ。



巣箱造り教室

- ★11月9日(土)、恒例の市民参加の巣箱造り教室を開催した。幸いなことに当日は天気が良く日当たりも眩しい晩秋の日よりとなった。
- ★市民の参加は、6家族11名でそれにシビックセンターから2名が同席され、それに保全くらぶ員が巣箱作りの補助として各組のサポートをし、巣箱造りを楽しんで貰った。
- ★天気が良く参加者全員巣箱造りをしながら小春日和を満喫した。今後は更に多数の市民参加を期待していて、事前のPR活動実施。



間伐体験学習

- ★12月14日(土)、好天に恵まれ市内の子供達による樹木の間伐体験を実施することが出来た。
- ★参加した児童は4名だったがくらぶ員も例年通り児童の間伐体験をサポートし、予定通り実施することが出来た。今回参加の児童には成長の過程で今回の経験が何かの糧になれば幸いだ。
- ★保全くらぶとしても、子供達の体験学習をサポートすることは楽しみで元氣も貰った。



★★ 石の池の整備 ★★

- ★おむすび池に比べ、石の池迄足を延ばす来園者は少ないが通路脇に設置しているベンチに腰を下ろし、池や周囲の景色を眺めるとおむすび池とは違った安らぎを感じることが出来る。保全作業も歳を重ね思うに任せられないが頑張りたいものだ。
- ★池の周りの景色と静寂は、またおむすび池とは違ったところがあり、訪れる人にはその感触を楽しんで貰いたいと思っており、年々石の池まで足を伸ばして呉れる来園者が増えることを期待し、整備に励みたい。
- ★また、通路の東側には平地があり奥には植樹したところがあるが中途半端なところがある一見すると整備の途中を想わせるところがあり、どの様な形に整備するか検討し進めたいものだ。

★★ ビオトープの整備 ★★

- ★今のところビオトープはミズバショウを中心に、まわりの整備を進めている。ミズバショウを増やす試みについては種から苗を育てて増やす試みなどいろいろ挑戦してみたが旨く増やせていない。現在は、既存の株から少し株を分割して行くことが最も可能性が高そうだ。
- ★このため株分けを中心にビオトープ一面に増やし、柵で囲った内側にミズバショウを一面に増やし、花の時期を楽しめるようにしたいものだ。それと現在柵で囲ったり、日除けネットを張ってるがこれも外したいと考えている。



季節の花便り・野草班

- ☆季節の野草便り
最近体力が落ちてきたので助川山の野草の状況を小まめに観察する機会がほとんど無くなり残念ながら季節の野草の状況をあまりよく把握出来ていない。
このため、野草の状況はビオトープが中心で、ひねり沢やすぎの沢などでの現地の実地の様子は残念ながら把握出来ていない。
このため、ひねり沢などでの現地状況は過去の経験をもとに予想することが多くなってきた。
- ☆季節の樹木便り
樹木の紅葉も、まだ葉が落ちていない段階での紅葉は残念ながらほとんど観察出来ていない。
そこで、樹木の葉が紅葉して地面に落ちた様子を写真に撮ってみた。
ネイチャーセンターへの登りにヤマウルシがあり紅葉が楽しめたが今年はどうだったな？。



担当：(鈴木)

パトロールだより

- ◆R6/9/8の台風13号の被害によりひねり沢を中心に立入禁止を継続しているが、来山者からの再開要望が多いため、公園係と相談の上、みはらしトレールとひねりの破損箇所を保全くらぶで暫定修復し歩行の安全性を確保した上で来春から沢歩きを楽しめるよう計画。
- ◆おむすび池水辺観察舎のベンチやひじ置台が腐食やぐらつきが大きくなり、訪れた際は要注意。近いうちに撤去するよう公園係に要請したい。
- ◆経年により赤松を中心に枯損木が多くなり倒木も増加。パトロール時には特に注意戴き、発見した発見したものは次回作業時に処置したい。

令和4年度のパトロール計画と実施日数

担当：(梶川)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計画	3	4	3	3	1	2	2	3	3			
実施	3	2	2	3	1	2	1	3	3			
中止	0	2	1	0	0	0	1	0	0			

おむすび池

保全の活動を楽しく

★ここ二、三年は新規に入会する人がいないので毎年一歳づつ平均年齢が上がつていて、現在八十五歳を超えて現年八十八歳の人もいる。活動そのものは年々合わなくなっているが、来場者には以前と変わらぬ山の手前を歩かせて貰っている。

★毎月数回の保全作業には十人前後の会員に参加して貰っているが、午前中の作業で正味二時間程度の除草や間伐は途中でも作業は次回へ繰越にするなど無理せず進めている。保全作業を実施するエリアも発当時に実施を進めていた場所を中心に作業の要領を引き継ぎ、現在まで踏襲している。活動も引き継ぎ、来年も考えることが出来る。ただ、今年も元気が出ない。作業が出来ない。期待したい。

(睦)

くらぶ内外の話

- ◆日本の源風景を表す表現として里地里山と云う表現があるようだ。日立地区ではイメージとして本山の東側より西側の中里地区が良く当てはまる感じがする。
- ◆「里地里山」に該当するかどうかなどはあまりこだわる必要はないと思うが、日立市民としては助川山と中里地区の里山は自然を身近に感ずることの出来る恵まれた環境にあるとも云えるのではないかな。この環境を維持することに保全くらぶとしても可能な範囲で努力して行きたいものだ。

編集後記

- ◆年末にかけての保全作業は、植樹地の間伐やネイチャーセンター前のヤマグリなどの保全作業が中心だ。寒さも厳しくなるが中例年通り実施出来た。
- ◆新しい入会者は歓迎したいがなかなか実現しないので毎年高齢化が進むばかりだが、今のメンバーでも可能なだけ活動は継続したいものだ。(鈴木)